

012歳児の虫や身近な生き物の飼育から 子どもたちの探求を応援したい！

テーマ設定理由

012こすもすには、いままでも、虫や身近な生き物に興味関心を持ってほしいと、いろいろな環境がありました。今回はそれをさらにパワーアップさせることで、子どもたちがもっと興味を持ったり、自分なりに考えたり、より探究できるようにと子どもたちが見えやすい場所に設置したり、飼育しやすいようにしたり、図鑑を見られるようにしたりと環境の工夫をし、さらに、子どもたちの興味に合わせて再構成していきました。

環境の工夫や子どもたちの姿



子どもたちは飼育ケースのチョウやかぶとむしをみながら、「～～みたいだね」「～～たべてるね」と興味津々。また、図鑑を眺めながら「一緒だね」と様々な気づきをしていました。

さらに、幼虫から、チョウ、成虫とチョウの変態をみたり、死んでしまったカブトムシとの別れを経験したりと、様々な経験と探究をすることができました。

ふりかえりと保育者の気づき

- ・見やすい、関わりやすい環境に変えるだけで子どもたちの興味は変わる！
- ・環境は一度変えればいいわけではなく、子どもたちの興味関心の変容、発展と一緒に再構成していくことがやっぱり大事
- ・保育者も虫や身近な生き物に興味関心をもって、子どもと一緒に考えたり、試したりすることも大事。

園庭をもっと子どもたちが探求できる場所にしたい！

テーマ設定理由

こども園の園庭には果樹、植物、プランターでの栽培などができる環境がたくさんあります。その環境をさらに充実させ、子どもの興味関心を深めることと、そのことを保護者の皆さんにも共有したい！と考えて、テーマ選定をして、実践してきました。

環境の工夫や子どもたちの姿



もっと園庭を更に充実させるために、まずは、担当の保育者が他の園に見学をし、勉強をしてきました。そして、暑い中、少しずつ環境を変えていきます。さらに、様々な花が咲く「たねだんご」を教えてもらって、それを保護者の皆さんと一緒に作って植える機会も設けることができました。それだけでなく、すぐに調べたり、じっくり関わられるようにベンチを用意したり、植栽トンネルを設置しましたが、完成はまだまだ先。だからこそ、どんな花が咲くのか、子どもたちと一緒に考えるコーナーも作りました。



ふりかえりと保育者の気づき

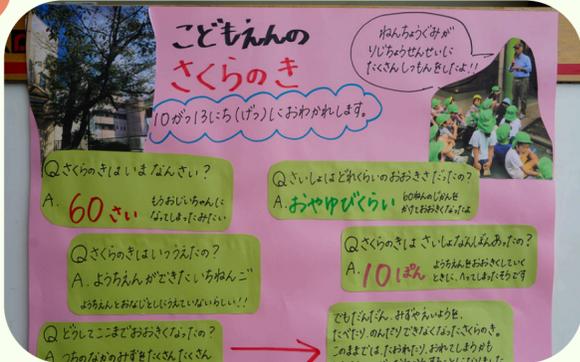
- ・子どもたちはとても小さなことにも気づき、疑問を持つ。それを大事にしたい！
- ・園庭が変わることで園の雰囲気も変わり、子どもの興味や意欲を大切にする園の強みがよりわかりやすくなった！
- ・保護者が参加できることで、文章や写真よりも伝わりやすい。しかし、ドキュメンテーションなどで日々伝えてきたからこそ、参加して気づくこともあるのでは？

寿命になった桜の木の伐採から 子どもたちと色々なことを考えたい！

テーマ設定理由

園庭の桜が倒木の恐れから伐採をすることになりました。その話を伝えたと
ころ桜の木に興味関心をもつ子どもたち。
子どもたちの興味から、「なぜ、桜を切らなければならないのか」「切った
桜を何かに活用できないか？」などを一緒に考え、活動することで、子ども
たちの興味関心をさらに広げようとしたためこのテーマに設定しました。

環境の工夫や子どもたちの姿



園庭の桜の歴史を知る理事長先生
から、桜の話を聞き、たくさんの
質問に答えてもらい、そこから、
いろんな活動へつながりました。
たとえば、段ボールで桜の木を
再現する子どもたちや、切った枝
を使って、染め物をするコーナーなど。また、切った太い幹
は、椅子になったり、遊び道具になったりしています。子ども
たちは様々な経験から、自分たちなりに考えたり、試したり、
とたくさんの学びの機会になりました。



ふりかえりと保育者の気づき

- ・安全上必要だったことが、環境や工夫によって、子どもの探究活動にもつながった！
- ・身近な場所で身近な人から話を聞くことは、子どもの興味関心にとっても大事なことです。
- ・掲示をすることで、子どもたちの対話がより聞かれるようになった！
- ・切っておしまいではなく、子どもたちの思い出に残っていたらとてもうれしいし、子どもたちも先々で思い出したように色々考える機会になったのではないかと。